

<現在の浜手幹線>

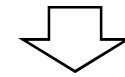
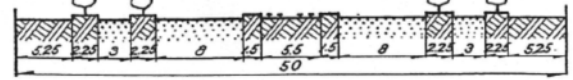


<出典：神戸市>

市街地から大阪方面に向かう国道43号区間

昭和21年に戦災復興路線として都市計画決定されて以降、神戸市の既成市街地を東西に結ぶ重要な幹線道路として整備が進められてきた。未整備の残区間についても、安全で円滑な交通の確保・緊急時の救助活動や物資輸送路の確保を目的に、現在も事業を推進している。

<昭和21年計画>

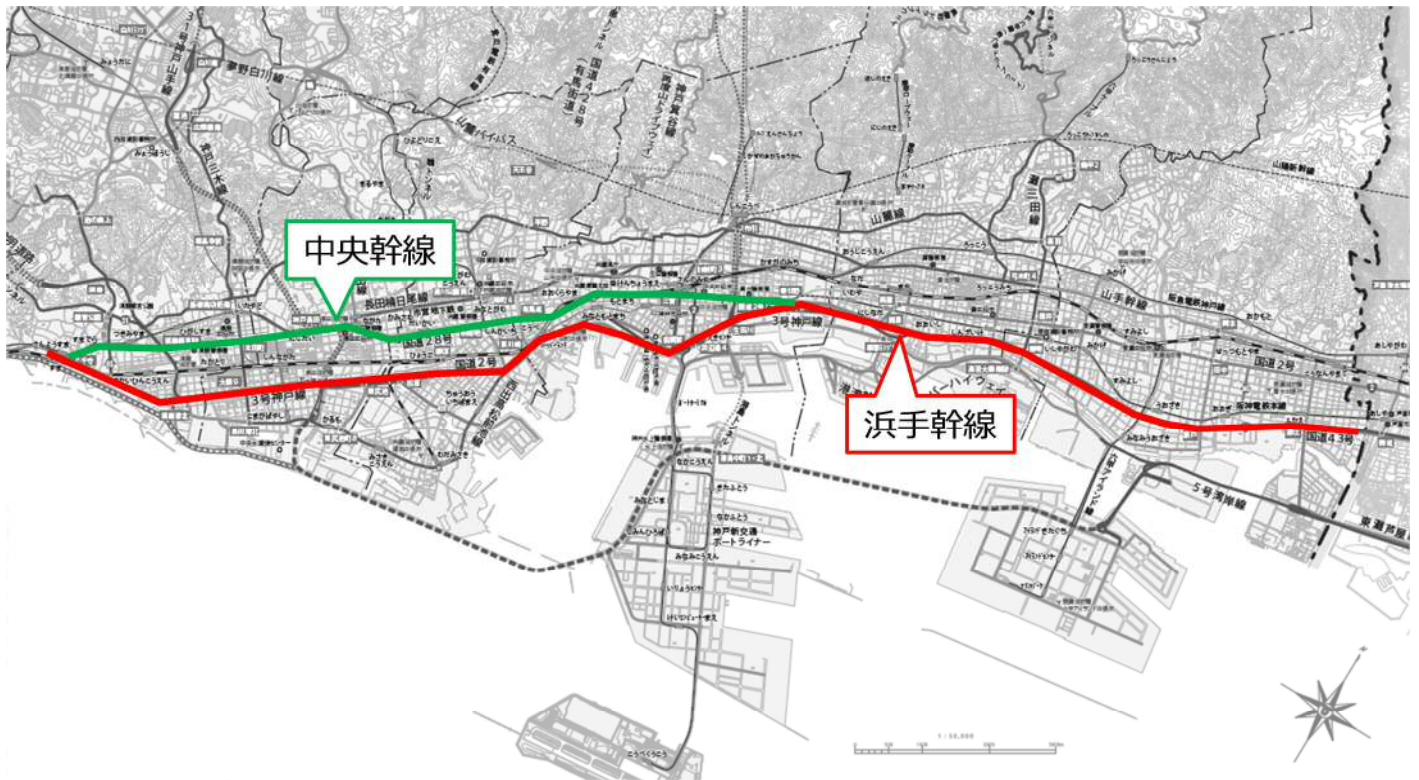


<現在>

幅員 50m



<中央幹線・浜手幹線の位置図>



<現在の中央幹線>



<出典：神戸市>

国道（2号）として神戸都心部と既成市街地を結ぶ

「神戸市復興基本計画要綱より抜粋」
 「幹線は、主要幹線および補助幹線を合わせ、東西の路線としては、中央、海岸、山手と、少なくとも3路線以上とし、これに連絡する路線および南北の路線の相当線を拡張、あるいは新設するを要し、その幅員は、東西線50〜36m、南北線その他のものは、100〜15mとするものとする。」

震災による復興基本計画として、昭和21年3月14日に神戸市復興基本計画要綱が定められ、この中で中央幹線や浜手幹線は主要な幹線道路として位置付けられた。

～街路構造令に特化した各都市の事例～

神戸市

ちゅうおうかんせん

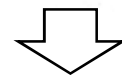
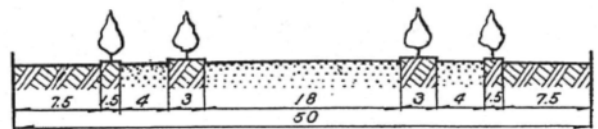
はまてかんせん

(都) 中央幹線と (都) 浜手幹線

諸元表（中央幹線）

名称	(都) 中央幹線 国道28号／県道神戸明石線
延長	約11km（当初） 約11km（現在）
種級	1等大路1類（当初計画） 4種1級（現在）
幅員	50m（当初計画） 50m（現在） 全体幅員に対する車道以外の幅員割合 ➢48%（当初計画）→38%（現在）

<昭和21年計画>



<現在>

